2025年

あいじ福祉会　黒部愛児保育園
ＴＥＬ　５２－４５１６

１２月　保育園だより

あいじ福祉会の理念
基本理念･･･乳幼児の最善の利益を図る
保育理念･･･人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、
乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

２０２５年も早いもので、もう残すところ１か月となりました。
最近は、落葉した寒々とした木々を見ると、本格的な冬の訪れを感じます。
寒さとともに、全国的にインフルエンザが大流行しています。子ども達に感染症対策の手洗い、うがいの大切さを伝え、室内の換気や消毒などをおこなっています。手洗い、うがい、栄養、睡眠をしっかりとり、元気にすごしましょう。

今月の行事予定

1(月)	イルミネーション点灯式 あいじサポターズの方に設置していただきました。ありがとうございました。 交通指導 毎月１日、15 日は年齢に応じた交通ルールを学びます フレンズタイム 歌に合わせて「あいうべ体操」や「足元気体操」「ラジオ体操」をして健康増進と異年齢交流を図ります。	18(木)	イングリッシュタイム　9:30～ ルーカス先生　(4.5 歳児)
		19(金)	避難訓練
		22(月)	フレンズタイム
		23(火)	年末お楽しみ会
		24(水)	もちつき　５歳児　(三日市保育所にて)
		25(木)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。
2(火)	０歳児 親子ふれあい会		
3(水)	１歳児 親子ふれあい会		※感謝の日　３園合同研修会 18:00～
4(木)	２歳児 親子ふれあい会		子育てサポーター シニアサロン
5(金)	中央小学校２年生　地域探検 10:00～		天神様お迎え
8(月)	桜井高校生保育体験　9:10～ フレンズタイム	26(金)	随時布団持ち帰り
10(水)	県指導監査		
11(木)	イングリッシュタイム　10:30～ ブライアン先生りえ先生(4.5 歳児)		１月の予定
	年末の交通安全県民運動（至 20 日）	5（月）	新年お楽しみ会
15(月)	フレンズタイム 交通指導		
17(水)	身体測定　(至２３日)		

保育・教育
今月は、各年齢での“お手伝い”についてお知らせします。

０歳児　ひよこ組

保育者の事をよく見ている子ども達は、窓や床を拭いているところを見ると、遊び用のハンカチを手に取り、一緒に窓や床をふきふき。また、「おもちゃ、ないない」と片付ける保育者を見て、一緒にカゴに入れようとします。このように保育者が言葉をかけなくても、子ども達の“やってみたい”が広がり、自然とまねっこ遊びに繋がっています。やがて年齢が上がるにつれ、様々な手伝いに興味をもっていきます。今は子ども達の興味・関心を大切に関わっています。

１歳児　りす組

自分のマークがわかるようになり、オムツ替えや衣服を着替えるときに、かごから取ってきます。また、食後の口拭きタオルやエプロンなどを保育者のたたむ動きを見て、真似をしてたたみ、自分の袋に片付けています。保育者の真似っこから“私もしたい、やりたい”という、興味関心がどんどん広がっています。それを言い換えると、“いたずら”ともいいます。「ありがとう」と誉められたことがきっかけで、いたずらからお手伝いにかわっていくことでしょう。あたたかく見守りたいと思います。

２歳児　うさぎ組

保育者が遊んでいたおもちゃを棚やかごに片付けようとすると、「僕もする」「これ持っていく」と保育者と一緒に運びます。「もうおもちゃないね」「ぴかぴかになった」と保育室を見渡します。また、自分の身の回りのことにも関心をもち、食後に食器やコップを自分で片付けようとします。保育者が「ありがとう」「自分でできたんだね。先生も助かったよ」と声を掛けることが自分でという意欲やお手伝いにつながっています。自分でという気持ち、大人の真似をしてやってみたいという気持ちに共感し、意欲を大切に育ててまいります。

３歳児　いぬ組

Ａちゃんが「広告で作った剣がない～」と訴えに来ました。保育者が「どこに置いたかな？誰か、Ａちゃんの剣、一緒に探すお手伝いしてくれる人いませんか～？」と呼び掛けると、友達が「僕、探してあげる」と剣を探して持って来てくれました。また、ジャンバーの袖が裏返しになり、「変になってる～」と困っている子がいた際に「誰か、直すお手伝いできる人いないかな？」と呟くと「僕、してあげるよ！」と手を差し伸べる姿が見られます。保育者や友達に「ありがとう」「助かったよ」と認めてもらうことで、「また手伝ってあげるね」と次への意欲にも繋がっています。お手伝いを通して、小さな達成感の積み重ねを大切にしていきます。

４歳児　くま組

園生活の中で、子ども達が自ら気付いたり考えたりして行動する姿が増えています。「私、これ使ってないけど一緒に片付けてあげる」「トイレのスリッパ、全部並べたよ」「台拭きでテーブル拭きたい」等です。これらは、保育者に言われてしているのではありません。子ども達が“やってみたい”という意欲をもち、必要性を感じたり、友達と一緒に心地良く生活しようとする気持ちの芽生えによる行動です。様々な経験を重ねる中で、少しずつ相手の気持ちに共感したり気付いたりできるようになります。人の役に立つ喜びを感じ、その充実感が自信となります。子ども達の行動の過程を認めたり、「ありがとう」を伝え合い、生きていくための力となる自己肯定感を高められるよう努めていきます。

５歳児　らいおん組

自分達がやりたいお手伝いについて話し合いをしました。今までしていたお手伝いで机を拭く、雑巾がけをして「ほめられた」「うまく出来た」などの経験が、さらに意欲につながったようです。「先生みたいに、ほうきやちりとりを使って掃除してみたい」「雑巾も絞れるよ」などの意見が出ました。また、、命ありがとうパパママデイの日に何かお手伝いできないかと考えました。誕生月の友達は何をしてあげたら喜ぶかな？と相手の気持ちを考え「プレゼントをあげたい」とグループに分かれて活動をすることになりました。「自分で出来た」「友達と頑張った」「相手に喜んでもらえた」などの気持ちを味わい、その経験が自信につながっていくことを願っています。